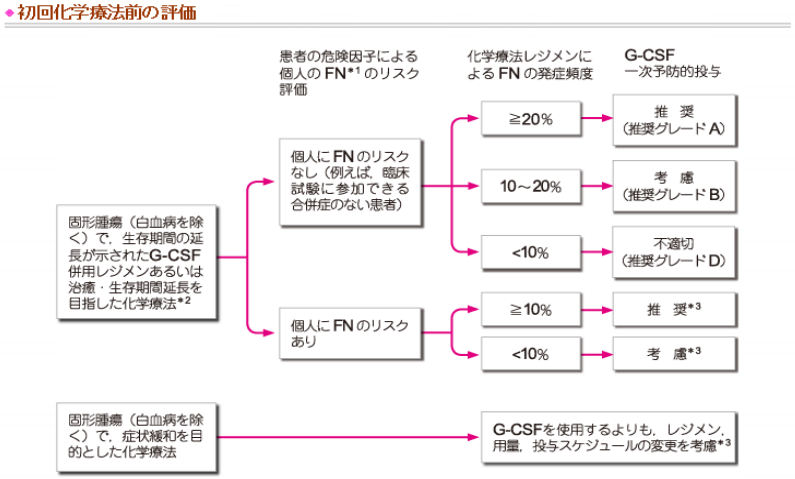
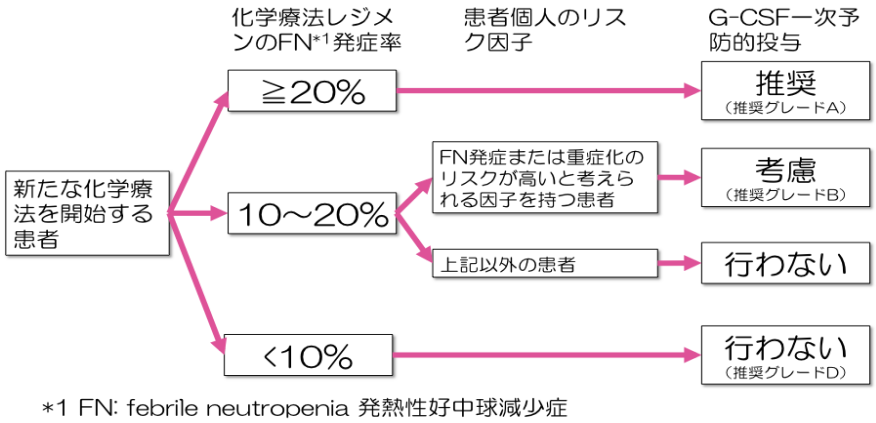
「G-CSF適正使用ガイドライン2013年版Ver.3」

※冊子体とは「G-CSF適正使用ガイドライン2013年版Ver.2」をさす
※変更箇所＝下線の箇所，赤字＝変更前，青字＝変更後
※新旧対照表は「図表を含めた本文」「検索式・参考にした二次資料」の順に掲載
「図表を含めた本文」新旧対照表

冊子体の頁	項目	該当箇所（行数は冊子体による）	2013年版Ver.2	2013年版Ver.3
iv	Clinical Question 一覧	CQ11の推奨グレード	C1	B
5	診療アルゴリズム	G-CSF 一次予防的投与 ◈初回化学療法前の評価	全体を差替え  	

「G-CSF適正使用ガイドライン2013年版Ver.3」

※冊子体とは「G-CSF適正使用ガイドライン2013年版Ver.2」をさす
※変更箇所＝下線の箇所，赤字＝変更前，青字＝変更後
※新旧対照表は「図表を含めた本文」「検索式・参考にした二次資料」の順に掲載
「図表を含めた本文」新旧対照表

<table>
<tr><th>冊子体の頁</th><th>項目</th><th>該当箇所（行数は冊子体による）</th><th>2013年版Ver.2</th><th>2013年版Ver.3</th></tr>
<tr>
<td>5</td>
<td>診療アルゴリズム</td>
<td>G-CSF 一次予防的投与
*初回化学療法前の評価</td>
<td>
初回治療前のFN のリスクの評価
<table>
<tr><th>ASCO</th><th>NCCN</th><th>EORTC</th></tr>
<tr>
<td>• 高齢者（65 歳以上）
• PS†不良
• FN の既往歴††
• 広範囲放射線照射などの強い前治療
• 化学放射線療法
• 腫瘍の骨髄浸潤による血球減少
• 栄養状態不良
• 開放創や活動性感染の存在
• 進行がん
• 重篤な合併症</td>
<td>• 高齢者（65 歳以上）
• PS†不良
• 化学療法施行歴
• 放射線治療歴
• 治療前好中球減少
• 腫瘍の骨髄浸潤
• 感染や開放創
• 最近の手術歴
• 腎障害
• 肝障害（ビリルビン高値）</td>
<td>• 高齢者（65 歳以上）
• 進行がん
• FN の既往歴††</td>
</tr>
</table>
† performance Status（PS）とは全身症状の指標であり，Eastern Cooperative Oncology Group によって分類される。0：無症状，1：軽度の症状があり，2：日中の50%以上は起居，3：日中の50%以上は就床，4：終日就床
††レジメンの異なる先行化学療法におけるFNの既往歴
</td>
<td>
初回治療前のFN のリスクの評価
<table>
<tr><th>ASCO</th><th>EORTC</th><th>NCCN</th></tr>
<tr>
<td>• 高齢者（65 歳以上）
• 進行がん
• 化学療法または放射線療法施行歴
• 治療前の好中球減少または腫瘍の骨髄浸潤
• 感染の存在
• 開放創の存在または最近の手術施行歴
• PS†不良または栄養状態不良
• 腎障害
• 肝障害（特にビリルビン高値）
• 心血管疾患
• 複数の合併症
• HIV 感染</td>
<td>• 高齢者（65 歳以上）
• 進行がん
• FN の既往歴††</td>
<td>• 高齢者（65 歳以上）
• PS†不良
• 化学療法施行歴
• 放射線治療歴
• 治療前好中球減少
• 腫瘍の骨髄浸潤
• 感染や開放創
• 最近の手術歴
• 腎障害
• 肝障害（ビリルビン高値）
• HIV 感染（特にCD4 細胞数の少ない患者）</td>
</tr>
</table>
† performance Status（PS）とは全身症状の指標であり，Eastern Cooperative Oncology Group によって分類される。0：無症状，1：軽度の症状があり，2：日中の50%以上は起居，3：日中の50%以上は就床，4：終日就床
††レジメンの異なる先行化学療法におけるFNの既往歴
</td>
</tr>
</table>